

第8分科会：企業における雇用定着の取組Ⅱ

障がい者主体による 花壇メンテナンス作業の実現への 取り組みについて

株式会社かんでんエルハート 園芸・商事グループ
○ 小泉 輝久

目次

1. はじめに（会社概要）
2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み
3. 障がい者主体での花壇メンテナンス作業の実態
4. 今後の展望

1. はじめに ■ 会社概要

開業時期	1995年4月（設立：1993年12月9日 [障害者の日]）	
事業形態	関西電力、大阪府・大阪市出資による 第3セクター方式の特例子会社	
拠点 事業所	本社（大阪市住之江区）	49名 勤務
	ビジネスアシストセンター（大阪市北区）	92名 勤務
	茨木アシストセンター（大阪府茨木市）	16名 勤務
	高槻栽培センター（大阪府高槻市）	7名 勤務
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷（印刷、製本） ・物販（ノベルティ、非常食等） ・メールサービス ・事務アシスト ・日常清掃 ・ヘルスケア ・園芸、貸農園事業 ・電線ケーブルリサイクル ・PCリファーマビリティ等 	
従業員数	164名（うち障がい者従業員 115名）	
雇用率	2.58%（2023年4月1日現在）※関西電力、関西電力送配電、当社の合算	



1. はじめに ■ 企業理念と使命

企業理念

誰もが等しく尊重され、生きる喜びに溢れる社会をつくります。

ミッション(使命)

あらゆる障がい者が活躍できる仕事を創造し、お客さまにご満足頂ける良質なサービスをお届け続けます。

ミッション実現のために心がけること

- ① 思いやり – 相手の最善を考えて行動すること
(自分がして欲しいと思うように、他者と接すること)
- ② 創意工夫 – より良いものを目指して、変化を恐れず、絶え間なく改善・改革を続けること
- ③ 挑戦 – お客さま満足や社員の成長のために、情熱を持ってさまざまな課題に挑戦すること

1. はじめに ■スローガン

多彩なハートを力に変える

エルハートには、障がいの有無に関わらず、多才（多彩）な人が働いている。

多彩な仲間（ハート）が協働することで生まれるシナジー効果により、力（エネルギー）に変えていく。多様な色の組み合わせは無限大。



※30周年を機に全従業員からの募集により、スローガンを作成。

1. はじめに ■従業員の配置状況

2023年4月1日現在

(単位：人)

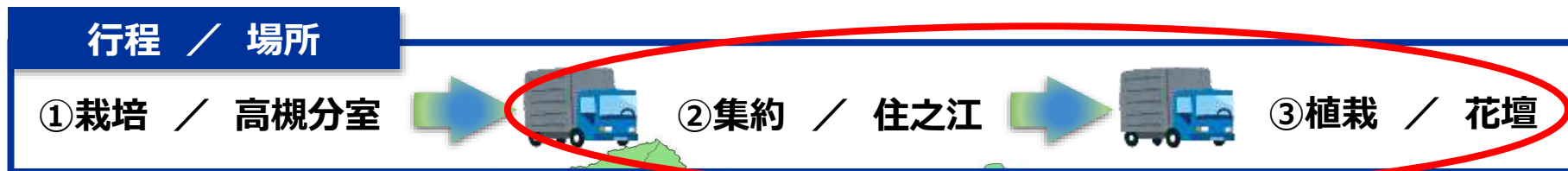
業務内容		知的	肢体	聴覚	視覚	内部	精神	小計	健常者	総計
メールサービス グループ	メールサービス	23	2		1	2	7	35	10	45
	ヘルスケア				8			8		8
中之島アシストグループ		7	2		1		1	11	6	17
茨木アシストグループ		8	2	1		1	1	13	3	16
印刷グループ		1	9	3		1	2	16	6	22
園芸・商事 グループ	花壇管理	6					5	11	5	16
	花卉栽培・貸し農園	4	1			1		6	1	7
	電線リサイクル	4						4	3	7
	被服管理等	2	3				2	7	4	11
業務サポート課	総務		3	1				4	11	15
合計		55	22	5	10	5	18	115	49	164

※115名のうち、重度障がい者 46名

1. はじめに ■ 花壇メンテナンス業務

(1) 関西電力の事業所での植栽、メンテナンス（補植・灌水・除草）を受託 25事業所花壇 計705.0㎡

(2) 関西電力以外 6事業所花壇 計79.7㎡



地図凡例 ◆エルハート ●花壇

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(1) 概要

- 花壇メンテナンス作業は、作業責任者である健常者 1 名 + 障がい者 3 ～ 4 名のチーム体制で行っており、必ず健常者がトラックを運転し現場に出動していた。
 - ✓ 障がい者ではトラックの運転を安全に行えないのではないか、事故のトラブルに対応が出来ないのではないか
 - ✓ 障がい者だけで現場作業をすると、トラブルが発生するのではないか

というパターンリズムにおちいっており、障がい者だけでのトラックの運転、現場作業を任せることをしてこなかった。
- そのため、車両運転を含め現場の監督は健常者だけが行っており、健常者の人数も限られる中で負担は大きかった。



障がい者へ作業責任者としての教育や、運転指導を行ったうえで、障がい者へ権限委譲し、障がい者だけのチームでトラックで出動する！

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(2) 目的と課題

目的

- 健常者の作業責任者の負担を軽減し、マネジメントや新規事業創出の時間を確保
- 障がい者のやりがいやモチベーション向上
- 障がい者の新たな職域や役割のレベルアップ

課題

- 品質だけでなく、仕事の効率化・安全面・時間を意識し作業ができるか。
- 花壇の状況を把握し、その日に優先すべき作業を判断できるか。
- チームワークの大切さを理解し、班員同士のトラブルが発生しないか。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(3) 対象者と同僚について〔班体制の紹介〕

■ 班構成



作業責任者
(健常者)



Aさん



Bさん



Cさん

■ 対象者

Aさん：作業責任者を目指して育成。男性。勤続14年目。精神・発達障がい。(アスペルガー症候群) 作業員の中では中堅社員で仕事を熟知している。普通自動車免許(その後中型まで拡大) 社内認定を取得しトラックの運転が出来る為、車両運転を伴う現場作業で活躍。勤務は不調によるTel休も無く安定。他の作業員との関係性も良好。

■ 同じ現場作業班の同僚

Bさん：作業員。女性。知的・発達障がい。勤続20年以上。園芸一筋で運転以外の仕事を把握。植物の状況判断をして、適切な作業ができる。

Cさん：作業員。男性。知的障がい。勤続20年以上であるが、自分で考えて判断する作業はできない。指示をすると、付き添う必要無く作業はできる。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(4) スキルチェックシートに基づく教育

内容

- ・作業責任者として必要なスキルのチェックシートを作成、指導
- ・これにより作業ルールが標準化されていない項目も発見でき、新たに作業ルールの標準化も強化

【責任者スキル向上】 ● 状況把握や判断方法、指示方法を教育する。
● 判断や指示方法も、出来る範囲で統一し教育する。

【ルールの標準化】 ● 園芸業務でルールが曖昧（なかった）であった作業を標準化する。
● 標準化したルールを、書面に落とし込み教育する。

メリット

- 標準化したルールを定着させることで、誰がやっても同品質・高品質になる。
- 責任者の判断や指示も、統一することで 障がい者の混乱を防ぐことができる。
- 責任者が増員することで、他班でも障がい者のみで現場編成ができる。

園芸業務にて **高品質の商品を障がい者主体で** 提供できる。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み 作業責任者のスキルチェックシートについて〔一部紹介〕

No	区分	項目		
1	テクニカルスキル	身だしなみ	出発前TBMにて、身だしなみチェックを自身が模範となり実施できる。	○
2		敬語	正しい敬語の使い方を理解し実践できる。	○
3		準備	現場毎に必要な道具準備を指示し、Wチェック等でミスなく準備できる。	○
4		植物知識	開花時期・水の量・耐寒性・耐暑性を理解している。	○
5			薬剤の種類、効果を理解している。	○
6		作業知識	花壇状況の把握(枯損箇所・灌水エリア)ができる。	○
7			当日実施すべき作業を把握している。	○
8			灌水のやり方を理解し指導できる。	○
9			剪定のやり方を理解し指導できる。	○
10			花柄摘みのやり方を理解し指導できる。	○
11			薬剤希釈・散布・取り扱いを理解し指導できる。	○
12			目安棒設置のやり方を理解し設置できる。	○
13			穴空け機の使い方を理解し使用できる。	○
14			植栽作業では、撤去から掃除までの一連の流れを完遂できる。	○
15			作業効率	作業効率を意識した指示・業務分担ができる。
16		時間管理	決められた時間内に作業を完結できる。	×
17			過剰品・品質がない	○
47	ヒューマンスキル	コミュニケーション	課員の勤務態度に問題が発生した時は指導ができる。	△
48			感情の浮き沈みで態度の変化がない。	○
49		メンタル	担当現場に対する責任やプレッシャーに対する耐性がある。	○
50		自己管理	心身不調による休暇(欠勤)が少ない。	○
○の数				42
△の数				5
点数(100点満点)				89

※50項目中、黄色箇所(18項目)は重要な項目のため、1つでも×があれば不合格。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

教育の紹介 【スキルチェックシート No.10目安棒】

目安棒とは？

知的障がい者や精神障がい者には空間認識能力が低い人もいます。花を縦・横に真っ直ぐ植栽をする事が難しいため、LHでは「目安棒」と言う治具を作成した。

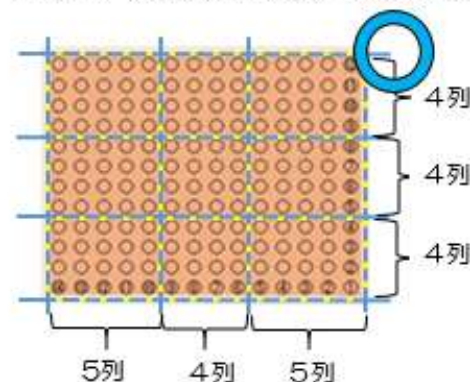


➤20cm間隔の目安棒は先端から1列目の印までの距離が10cm。印から印までの距離は20cm。

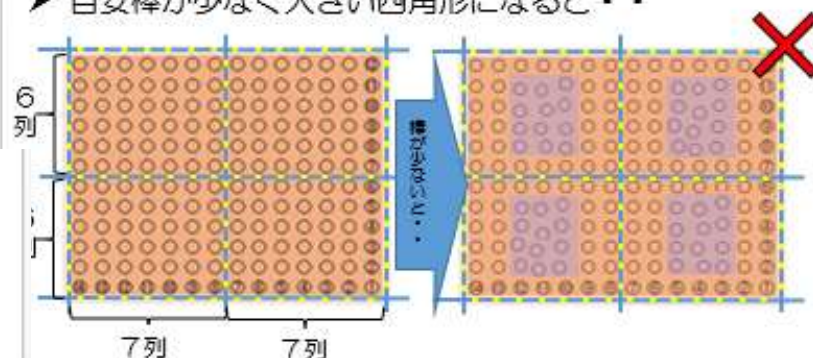


目安棒設置方法①

- 3~5列毎に置く。
- 縦横、それぞれ5列までの小さい四角形を作るイメージ



- 目安棒が少なく大きい四角形になると・・・



目安棒から離れた場所の植栽は印が確認しにくいいため、ズレが発生しやすい。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

教育の紹介 【スキルチェックシート No.10目安棒】

—— 目安棒設置方法② ——

- 縦棒と横棒が交わる部分の角度は必ず90°
- 交わる部分の中心から印までの距離は必ず10cm。

➢ 角度を90° にしなかった場合・・・

縦a 縦b
横a 横a

縦aの90° に対し縦bは75°

3

角度が変わることで横aから印までの距離が縮まる。それにより20cm間隔に植栽できない。

—— 目安棒設置方法③ ——

- 交わる部分の中心位置がずれると・・・

心理的に目安棒から離れた場所に植栽する傾向にあるためスレが生じる。

- 外周は中心から印までの距離に制限なし。

4

設置方法を標準化し、写真や図にて細かく説明。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(5) PDCAサイクル教育の紹介

PDCAの実践

甲子園作業Lは、今後PDCAシートを記入し、毎回作業後に振り返りを行うこととする。

PDCAシート

日付 2020年8月1日 事業所 難波配電営業所 名前 ○○ ○○

NO	項目	内容
1	P(計画)	1. 指示は抽象的に表現せず具体的に言う。 2. 休憩は40分に一回はとる。 3. 図面には目安棒設置場所を書いておく。
2	D(実行)	上記の計画を実行する。
3	C(振り返り)	よかった点 1. 指示をするとき具体的に言ったため、波見さんは戸惑うことなく作業ができた。 2. 目安棒設置場所をあらかじめ図面に書いていたため、藤本さんへ口頭指示を省いても、一人で設置ができていた。
		悪かった点 作業に夢中になりすぎたため休憩を取ることを忘れてしまった。
4	A(改善)	次回からストップウォッチを持ち、40分毎にタイマーが鳴るよう設定する。それにより休憩の取り忘れを予防する。

フィードバックを行い、悪かった点で指摘があった作業には、改善をするよう指示をした。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(6) アセスメントの実施

Aさんの性格や特性による、得意なことや苦手なことを洗いだし、アセスメントを実施。必要な支援方法・工夫を検討し、本人に共有しながら自己理解へと繋げた。

得意なこと(強み)	苦手なこと(弱み)	今後必要な工夫、等
<ul style="list-style-type: none"> ルールを守って事前に作業や、資料など準備ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりが強く、作業に時間がかかる。 ・暗黙のルールが分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事量を多く付与せず、1つずつ確実に、早く終了できるよう指導する。 ・暗黙のルールに気付いていない時は、説明をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に1つずつ作業ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業に没頭するため、周囲への注意が怠る。 ・時間管理（見通しを立てる事）が苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、作業範囲と時間をきめてから、作業を開始する。
<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話でのコミュニケーションをとる事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気を読み取れない時がある。 ・会話の返答に焦らされると困り、適切な返答が出来ない時がある。(おかしい返答になる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自問自答してから、相手に伝える。 ・聞く側も焦らさずに相手のペースで話を聞く。(傾聴)

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(7) 安全面についての取り組み ■ 実践訓練

現場コースは、勤務地から30分程度で行ける現場2か所を運転して回り、作業を行う。訓練は実践形式で役職者が同乗し、指摘事項をまとめフィードバックを行った。

【 実践訓練例 】



南大阪周辺 路地裏

南大阪での作業が終わり、営業所を出発してすぐの信号の無い交差点で横断しようとしている**歩行者と「お見合い」状態になり少し危ない状況**でした。他にも歩行者が多く、徐行して通過しました。



御陵前交差点（右折）

右側を路面電車が走り、赤丸の箇所からも車の往来がある、**変則的な六差路**になっています。右折し終わった先にも横断歩道があるので注意が必要です。

2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

(7) 安全面についての取り組み ■ 事故シミュレーション

■ 事故を想定したシミュレーションを実施

【想定、実施内容】

- Aさん運転のトラックにて、現場Aから現場Bに向かう道中、交差点の信号待ちにて後方車から衝突された、もらい事故（被害者）の事故ケースを想定する。（後方車は別車両にて役職者が運転）
- 本人には、事前に伝えず、交差点で事故が発生したとして、コンビニ駐車場に誘導し、安全な場所に駐車後、事故対応を行えるか確認を行った。



2. 障がい者主体での花壇メンテナンス業務の取り組み

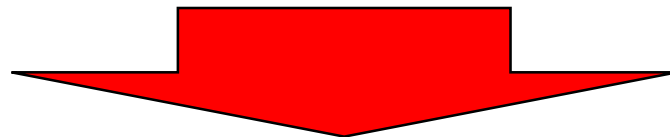
(7) 安全面についての取り組み ■ 実施結果

【良かった点】

- ・同乗者のケガの有無の確認をしっかり行っていた。

【指導事項】

- ・今回は、広いコンビニ駐車場にて行ったが、狭い路肩に一時停車することもあるので、二次災害につながらないように注意すること
- ・場合によっては、相手がいなくなる（逃げる）事なども想定し、相手の情報の聞き取りや相手の車の被害状況などは、スマホで撮影すること
- ・実際の事故の場合は動揺もするので、会社に連絡した際に変わりの運転者の応援を依頼し、以降の運転は控えること



以上により、本人には
事故時の対応も責任者として必要なスキルだと認識を
深める事ができた。

3. 作業員主体での花壇メンテナンス作業の実施

以上の取り組みにより、Aさんも作業責任者としてのスキルを習得しながら、障がい者のみで花壇メンテナンスを実施。

作業場所は、出発地から30分以内のコースを設定し、万が一事故などトラブル等が発生しても役職者がすぐに現地に行き対応できるようにした。

障がい者だけの単独メンテの現場出勤日数

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メンテ回数	4	4	4	5	4	8	9	9
実績	1	2	2	2	2	3	5	6

3. 作業員主体での花壇メンテナンス作業の実施

【事例1】

作業をしっかりしたいAさんと、時間を決めて作業を行いたいBさんの作業の認識の違いで、午前中で終了予定であったが、大幅に超過（13時30頃終了）した事があった。

⇒フィードバックでAさんが納得するまで健常者が入念にコミュニケーションをとって決めた内容。

- 決めた時間内に作業が完了できる力を身に付ける。
- 優先すべき作業、やらなくても良い作業の判断をする能力を身に付ける。
- 相手の考え方を理解し、時には譲歩する力を身に付ける。

時間を意識した作業ができるよう、課題の解決を図れた。

3. 作業員主体での花壇メンテナンス作業の実施

【事例2】

夏場の猛暑の中での作業は、小休止を50分を目安に10分程度取っているが、Aさんは暑さに強く、50分を超えても区切りのよいところまで作業をしたい。

逆にBさんは暑さに弱く、50分を目安に休憩をしたい。

作業開始から50分経過し、作業の途中であったが、Bさんから、「そろそろ休憩をしませんか？」と提案があったため休憩を取った。

⇒班員同士で事前に、休憩の取り方などのコミュニケーションをとっていたことにより、班員同士のトラブル防止、夏場の熱中症予防にもつながった。

現在も、フォローチェックをしているが、品質・安全面等、問題が無いいため、作業責任者としてのスキルが身についている。

4. 今後の展望

Aさん主体の花壇メンテナンス作業の紹介をした。

今回整備した仕組みを更に展開し、新たな精神障がい者や、知的障がい者にも教育を実施し、**仕事を障がい者に任せる事でやりがいを感じ活躍ができるようにしていく。** **また権限移譲の推進により生産性の向上に繋げていく。** これからも障がい者主体の仕事を多く増やし、障がい者雇用の拡大をしていきたい。

ご清聴ありがとうございました。

